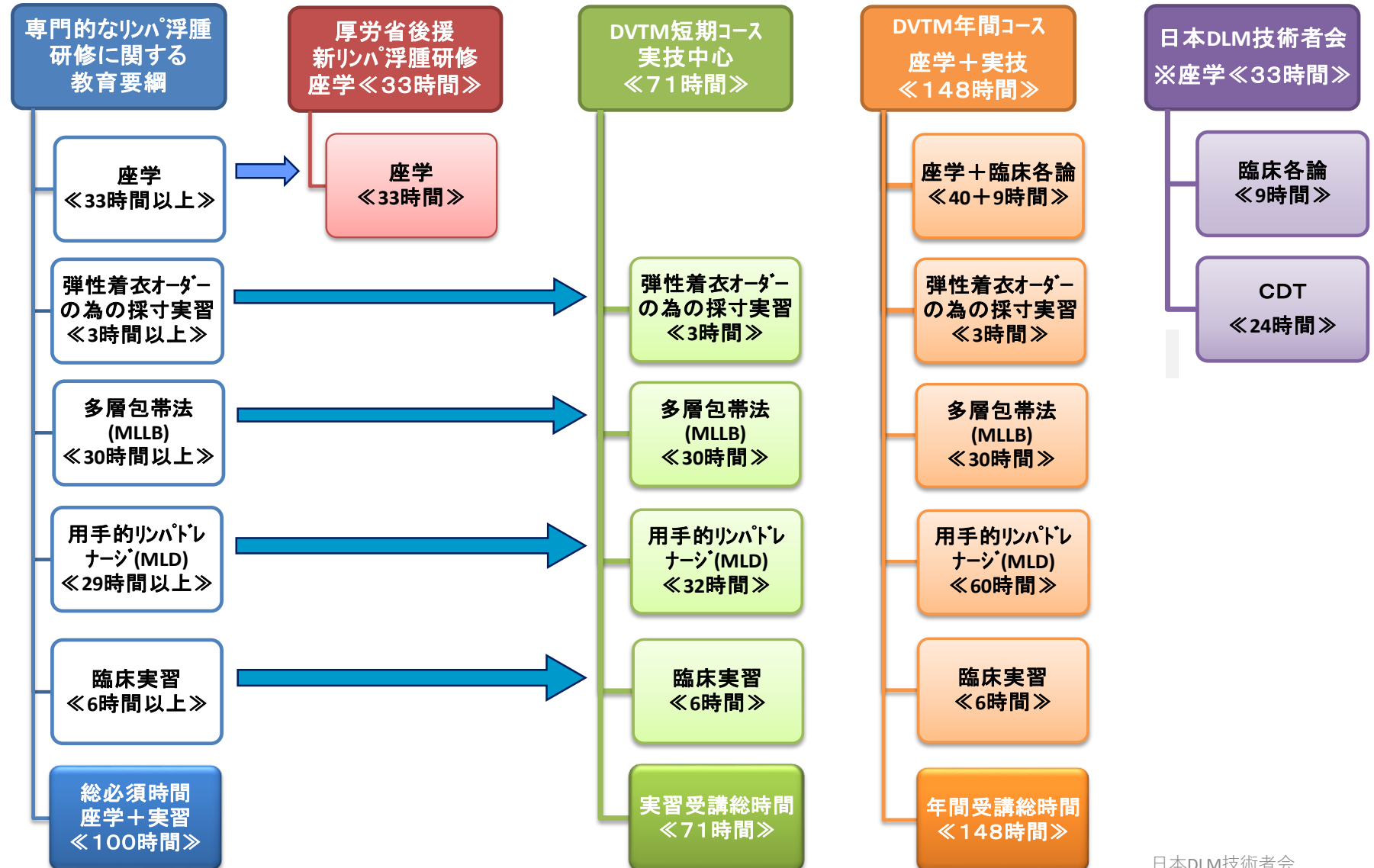


リンパ浮腫セラピストになるまで

厚労省後援「新リンパ浮腫研修」研修委員会による規定
専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱

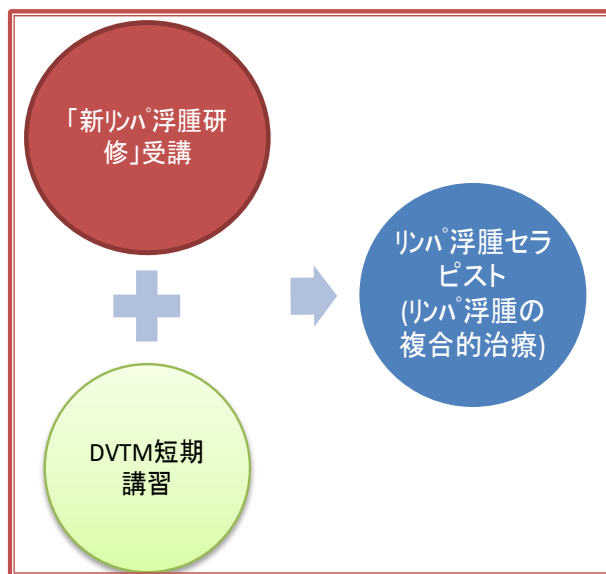


リンパ浮腫セラピストになるまで

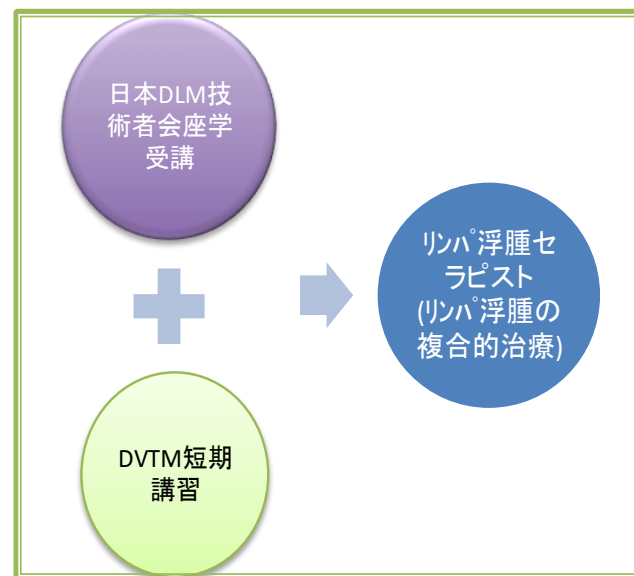
日本DLM技術者会の研修は、平成28年6月14日厚生労働省保険局医療課疑義解釈にて、座学、DVTM+理論、両方を「よし」と評価、記載されました。平成28年度に弊会所定の研修を修了した者は、リンパ浮腫複合的治療料に関する施設基準の(1)ウについて、「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱」にかかる要件を満たすもの」となります。

弊会では、リンパ浮腫複合的治療料のリンパ浮腫セラピストになる為のコースを下記3コースから選択できます。

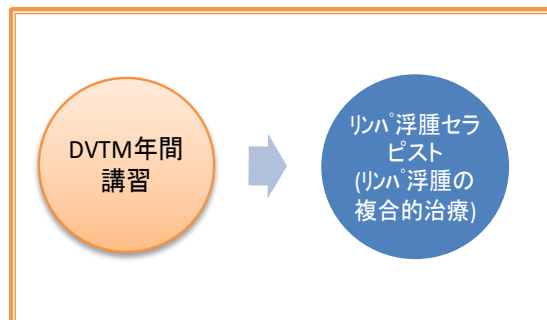
I.



II.



III.



質の高いリハビリテーションの評価等⑧

リンパ浮腫の複合的治療等

▶リンパ浮腫に対する治療を充実するため、リンパ浮腫に対する複合的治療について項目を新設し、またリンパ浮腫指導管理料の実施職種に作業療法士を追加する。

(新) リンパ浮腫複合的治療料

1 重症の場合 (1日につき) 200点

2 1以外の場合 (1日につき) 100点

[算定要件]

対象	乳がん等に続発したリンパ浮腫で、国際リンパ学会による病期分類Ⅰ期以降の患者。Ⅱ後期以降を重症とする。
回数	重症の場合は治療を開始した月とその翌月は2月合わせて11回、治療を開始した月の翌々月からは月1回。 重症以外の場合は、6月に1回。
実施職種	専任の医師が直接行うもの、又は専任の医師の指導監督の下、専任の看護師、理学療法士又は作業療法士が行うものについて算定。あん摩マッサージ指圧師(当該保険医療機関に勤務する者で、資格を取得後、2年以上業務に従事(うち6月以上は保険医療機関において従事)し、適切な研修を修了した者に限る。)が行う場合は、専任の医師、看護師、理学療法士又は作業療法士が事前に指示し、かつ事後に報告を受ける場合に限り算定。
内容	弾性着衣又は弾性包帯による圧迫、圧迫下の運動、手動的リンパドレナージ、患肢のスキンケア、体重管理等のセルフケア指導等を適切に組み合わせ、重症については1回 40分以上、それ以外の場合は1回 20分以上行った場合に算定。一連の治療において、患肢のスキンケア、体重管理等のセルフケア指導は必ず行う。また、重症の場合は、毎回の治療において弾性着衣又は弾性包帯による圧迫を行う。

[施設基準]

- 当該保険医療機関に、次の要件を全て満たす専任の常勤医師1名及び専任の常勤看護師、常勤理学療法士又は常勤作業療法士1名が勤務
 - それぞれの資格を取得後2年以上経過していること。
 - 直近2年以内にリンパ浮腫を5例以上経験していること。
 - リンパ浮腫の複合的治療について適切な研修(医師については座学33時間、医師以外の職種については加えて実技67時間)を修了していること。
- 当該保険医療機関又は連携する別の保険医療機関において、直近1年間にリンパ浮腫指導管理料を50回以上算定していること。
- 当該保険医療機関又は連携する別の保険医療機関において、入院施設を有し、内科、外科又は皮膚科を標榜し、蜂窩織炎に対する診療を適切に行うことができる。

厚労省ホームページより抜粋

リンパ浮腫セラピスト

I.「新リンパ浮腫研修」対応コース

厚労省後援「新リンパ浮腫研修」座学：33時間



DVTM 8日間講習 + 1日(臨床実習) ⇒ 実技：71時間

{ DVTM技術(上・下肢、胸郭、腹部)講習：32時間
多層包帯法(MLLB)・圧迫下の運動・弾性着衣の採寸等：33時間
臨床実習：6時間 }

講習費：37万円 + 税(包帯材料費・臨床実習費実費)

受講総時間104時間

リンパ浮腫セラピスト Ⅱ.「DVTM短期コース」

日本DLM技術者会 座学「臨床各論＋CDT」：33時間

(※旧名称 DLM・CDTセミナー)

講習費：8.5万円＋税 (※早割適応時)



DVTM 8日間講習＋1日(臨床実習)⇒実技：71時間

{ DVTM技術(上・下肢、胸郭、腹部)講習：32時間
多層包帯法(MLLB)・圧迫下の運動・弾性着衣の採寸等：33時間
臨床実習：6時間 }

講習費：37万円＋税(包帯材料費・臨床実習費実費)

受講総時間104時間

リンパ浮腫セラピスト

III. 「DVTM年間(地域開催)コース」

DVTM 年間講習：148時間

毎月1回(第2土曜日半日・日曜日1日)×12回 + 1日(臨床実習)

DVTM理論:40時間

— DVTM循環器系理論

DVTM実技(全身):60時間

— 顔面・胸郭・上肢・腹部・背面/腰部・下肢

多層包帯法(MLLB)・弾性着衣の採寸:33時間

— MLLB理論・実技/多層包帯/弾性着衣

— 多層包帯セルフ指導、カウンセリング

— 圧迫下の運動など

座学:臨床各論(旧DLMセミナー):9時間

— むくみの病態生理、がんのリハビリテーション、SLD、等

臨床実習:6時間

講習費：40万円＋税 (包帯材料費・臨床実習費実費)

受講総時間 140時間以上

受講希望者12名以上で開催OK